
トラック10『販促パート』

◆タイトルコール

【琴葉】

「モノセロスプラス」

【琴葉】

「甘々和服メイドさんと二人っきりのHな田舎暮らし 優しく貴方にHなご奉仕」

◆発売1週間前ボイス

【琴葉】

「甘々和服メイドさんと二人っきりのHな田舎暮らし 優しく貴方にHなご奉仕、発売までもう少しとなりました」

【琴葉】

「お戻りになった主さまを癒して差し上げるために、タオルで汗を拭いて差し上げたり、日焼けしたところに化粧水をお付けしたり」

【琴葉】

「耳かきもさせていただきます。わたくしの膝で宜しければお使いください」

【琴葉】

「耳かきも2種類用意いたしました。普通のと、先がブラシになっているものがあるんですよ？ これが気持ちいいんです」

【琴葉】

「主さまのお世話は私の務めです。気持ちを楽になさってください」

【琴葉】

「主さまに喜んでいただけるように、わたしも色々準備したんです。気に入っていただけるか分かりませんが……」

【琴葉】

「ゆっくりと気持ちを落ち着けて……私に身を預けてくださいますか？」

【琴葉】

「甘々和服メイドさんと二人っきりのHな田舎暮らし・優しく貴方にHなご奉仕、2月25日発売です」

◆発売前ボイス

【琴葉】

「そ、そうでした、私ったらすっかり大事なことをお伝えするのを忘れていました」

【琴葉】

「お風呂の準備もしておりまして……よかったらお身体をお流してもよろしいでしょうか？」

【琴葉】

「主さまの大きい身体……たくましくて……ドキドキ、しちゃいます……」

【琴葉】

「主さまにご奉仕できるのが……嬉しくって胸が高鳴るんです」

【琴葉】

「私の身体で主さまのことを隅々まで洗わせていただきます。おちん、ちんは……私の手とお口でご奉仕させてください」

【琴葉】

「はあんっ、考えるだけで……おまんこが疼いてしまいます……主さまあ、お情けください……可愛がってください……」

【琴葉】

「甘々和服メイドさんと二人っきりのHな田舎暮らし・優しく貴方にHなご奉仕、発売まであとちょっとです」

◆発売記念ボイス

【琴葉】

「主さま、主さま。やっとこの日がやってまいりました……」

【琴葉】

「1週間なんてあっという間のはずなのに……とても長くて、毎日締め付けられるような心持ちでした」

【琴葉】

「こんなに激しく身を焦がすような気持ちになったのは初めてです。主さまが、わたくしを大事にしてくださるから」

【琴葉】

「も、もし我儘をお許しいただけるなら……今日はいっぱい、強く抱きしめてほしいんです」

【琴葉】

「主さまの体を、吐息を、心音を……強く体で感じたいんです。わたくしを主さまのものにして欲しいんです」

【琴葉】

「わたくしの初めて……貰っていただけますか？」

【琴葉】

「甘々和服メイドさんと二人っきりのHな田舎暮らし・優しく貴方にHなご奉仕、好評配信中です」

【琴葉】

「お慕いしております、主さま……ちゅっ」

◆販促ミニドラマ「琴葉と居候猫」

【琴葉】

「あ、たまちゃん！ 最近見ないと思っていましたが……どこに行っていたんですか？」

【琴葉】

「姿が見えないと心配してしまいます……お腹は空いていますか？ かつお節がありますよ」

【琴葉】

「……お腹は空いていないみたいですね……きゃあっ！」

【琴葉】

「もう、急に飛び掛かってきてはいけませんよ。めっ！ ……ふふふ、一緒に遊びたいんですよね？」

【琴葉】

「よ～しよ～し、それじゃあ一緒に遊びましょう♪」

【琴葉】

「この前雑貨屋さんで見つけたので買っておきました！ 猫じゃらしですよ～」

【琴葉】

「先っぽのところには鈴が付いていますので……ほら、ちりんちりんって綺麗な音がしますね」

【琴葉】

「これをこ～～やって……あははっ飛び上がって可愛い♪ そ～れ、そ～～れ、にゃんにゃん、にゃんにゃ～～ん」

【琴葉】

「そ～れ、そ～～れ、こっちですよ～……それからこっち～～……、ふふっ、とっても元気！」

【琴葉】

「下から～上につ、ジャンプ、ジャンプ……きゃっ!! ふふ、もう……びっくりしちゃいました。」

【琴葉】

「たまちゃんはとってもお転婆さんなんですから。でもこうやって撫でてあげるとすぐに大人しくなるんですよね？」

【琴葉】

「よ～～しよ～～し……いい子いい子、とっても可愛い私のたまちゃん、いい子だにゃ～～ん」

【琴葉】

「にゃんにゃん、にゃんにゃ～ん。ちゅっちゅっちゅっ……ふふふっ、気持ち良さそうにしてる……たまちゃんを見ると癒されるにゃあ」

【琴葉】

「いっつもふらふらとしているから、心配しているんですよ？ ちゃんとうちの子になりませんか？」

【琴葉】

「そしたら私がお母さんです。いっぱい可愛がって、甘やかしてあげちゃいます」

【琴葉】

「でもそうになったら……主さまはお父さんでしょうか……わ、わたしは主さまの妻ということに……」

【琴葉】

「そんなそんないけません！ 恥ずかしくなってしまうです！」

【琴葉】

「もし私を……妻にしてほしいとお伝えしたら……主さまはどんな顔をされるのでしょうか」

【琴葉】

「嬉しい顔、してくださるのでしょうか……私はまだまだ未熟者で、主さまのお役に立てていないかもしれませんが……」

【琴葉】

「もっともっと頑張りますから。これからもお側においでください」

【琴葉】

「あ、たまちゃん……そろそろお出かけですか？ ちゃんと毎日帰ってくるんですよ」

【琴葉】

「そしたら私もお夕飯の準備をしなくちゃですね。主さまは喜んでいただけるように今日は一段と手間暇かけて作しましょう」

【琴葉】

「主さまの喜ぶ顔が私にとって何よりの幸せですから」